

(仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

1. 事業目的

黄金森公園は、昭和 56 年に総合公園として都市計画決定し、本町の「豊かな自然環境を生かした生活利便性の高い田園都市」を目指して順次、陸上競技場、野球場、テニスコートを整備しています。また公園内には文化及び情操教育等に寄与するよう、南風原文化センター、中央公民館、南風原町総合保健福祉防災センター（ちむぐくる館）を整備しています。公園面積 20.5ha。

本事業では、黄金森公園を拡張し、近年の社会状況および町民のニーズ等を踏まえた体育館を整備することを目的にしています。整備にあたり、町の財政縮減を図りつつ、より良い公共サービスを提供するため、PFI の導入可能性を視野に入れながら検討することとしています。

2. これまでの経緯

(1) 検討経緯

昭和 56 年都市計画決定時の基本設計に体育館整備を盛り込みましたが整備まで至らず、平成 17 年度に見直しの検討、令和 4 年度に更なる検討を行い、令和 5 年 3 月に「黄金森公園屋内運動施設基本計画」を策定しています。

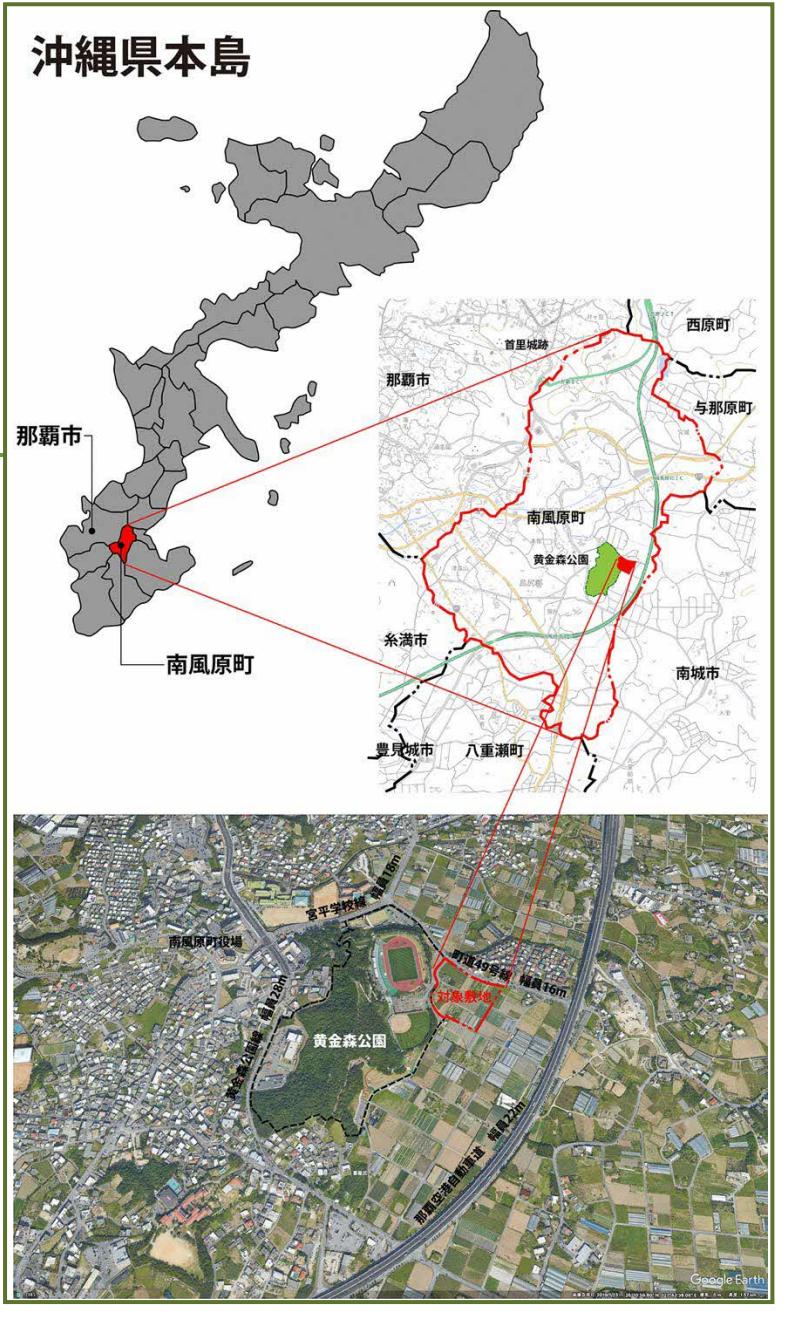
3. 計画概要

(1) 位置及びアクセス

- 那覇空港より車で 25 分 (13km)
- ゆいレール「首里駅」より車で 15 分 (4.6km)

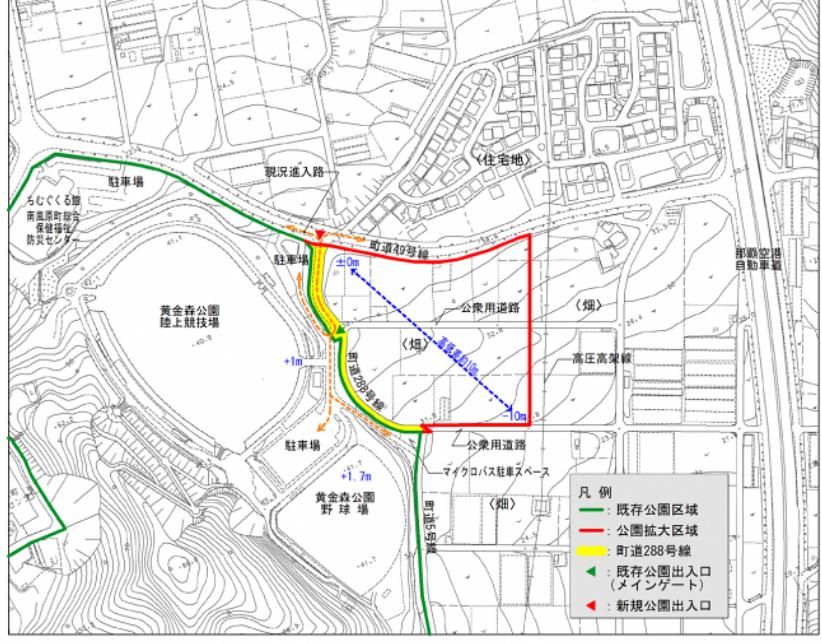
(2) 計画施設

- 敷地規模：約 2.6ha
- 建築面積：6,500 m²程度
 - ・バスケットボール公式戦対応コート 4 面
(サブアリーナ含む)
 - ・ハンドボール公式対応コート 2 面
 - ・観覧席（固定席）1,000 席
- 駐車場：300 台程度（既存を含め 500 台程度）
- 広場・緑地等
 - ・各種イベントの開催
 - ・体育館との連携利用
 - ・緩衝空間の形成



(3) 敷地条件

項目	内容
名称	(仮称) 南風原町民体育館
所在地	〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町字宮平付近
敷地概要	面積：約 26,000 m ²
備考	・黄金森公園（都市計画公園（総合公園））を拡張予定 ・市街化調整区域



(4) 立地・周辺環境

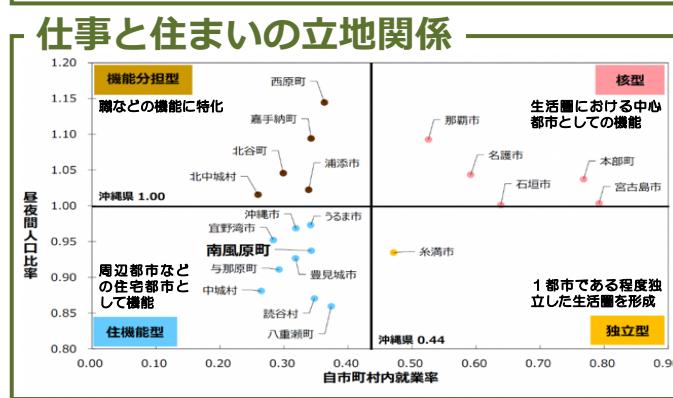
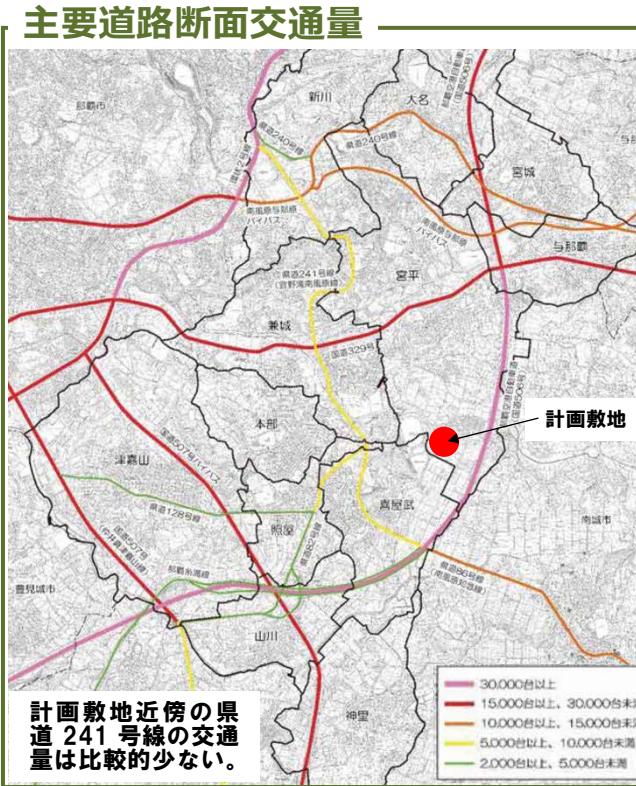
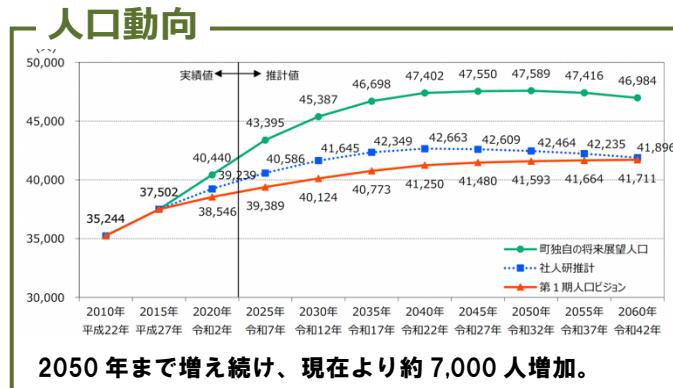
対象敷地周辺には、西に黄金森公園内の各種施設、700m離れた場所には役場があります。北側 1~2km 圏には、南部医療センター・こども医療センターやイオン南風原店など大規模な生活支援施設が立地しています。

南風原町は、沖縄本島南部の中央に位置しており、古くから交通の要衝で、様々な広域・広幅員の道路が整備・計画されています。(対象敷地の東に那覇空港自動車道路、黄金森公園西側に町の南北幹線の県道 241 号線(4 車線)、東海岸のマリンタウン MICE エリアと那覇市を結ぶ国道 329 号南風原バイパス(幅員 43m))



(仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

3. 参考情報



4. 基本計画の概要

令和4年度「黄金森公園屋内運動施設基本計画」より

(1) 基本コンセプト及び整備方針

【基本コンセプト】

スポーツを楽しみ、夢を育み、交流を生み出す体育館

整備方針

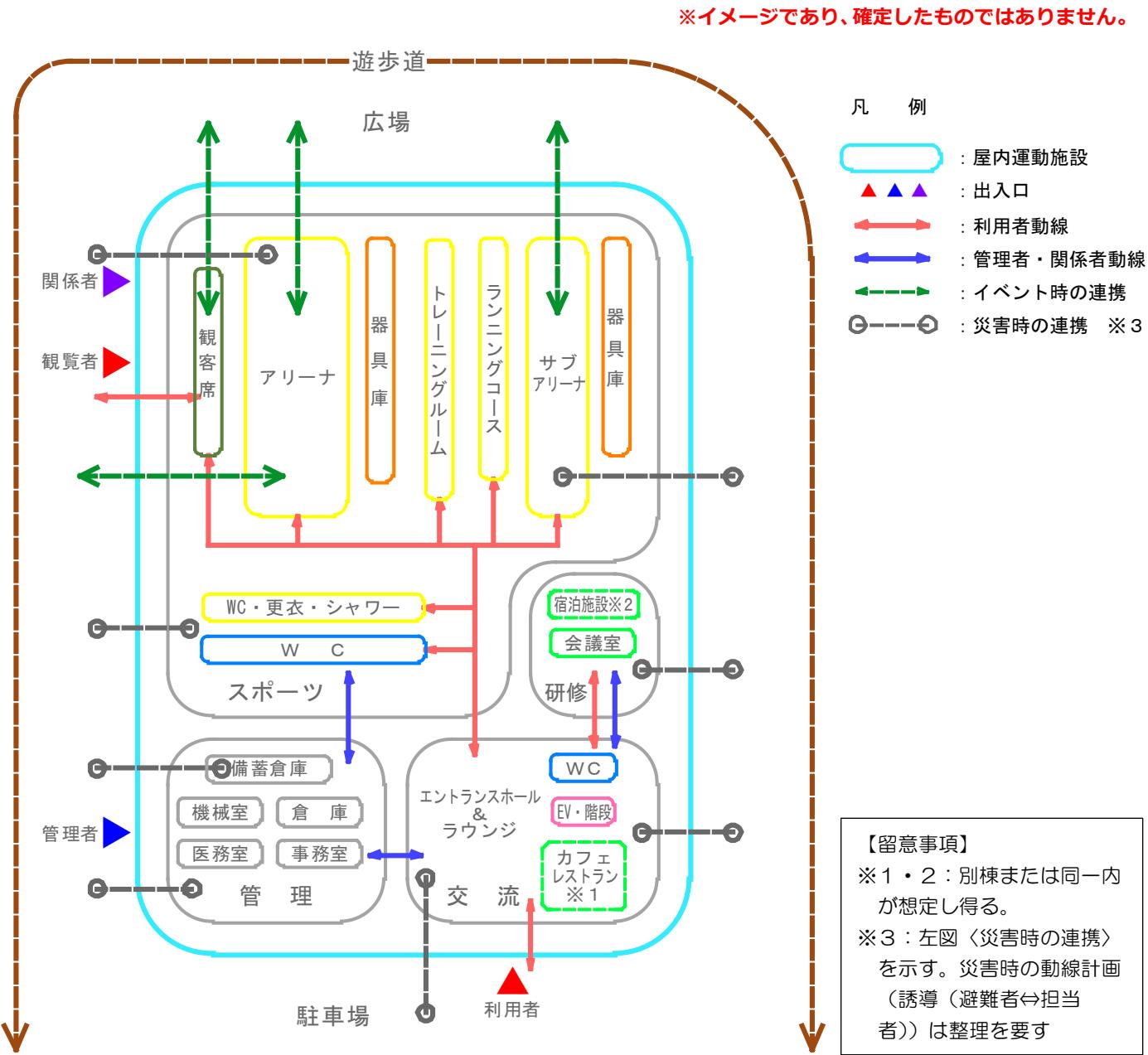
- ① 町民が気軽にスポーツを楽しむ体育館
 - ・町民の誰もが使いやすく、レクリエーション、健康増進等に取り組むことができる体育館とします。整備にあたっては、利用者に優しいバリアフリー、ユニバーサルデザインに配慮します。
- ② 町民がスポーツを観て夢を育む体育館
 - ・トップレベルの大会（主に県大会、九州大会）などを観戦することで、子どもたちの夢を育む場となる体育館とします。
- ③ 人が集まりにぎわいが生まれる体育館
 - ・運動、スポーツという機能に加えて、様々なイベントを行う場として整備を図り、人々の交流を促進し、地域の活性化に寄与する体育館とします。
- ④ 防災拠点としての役割をもつ体育館
 - ・災害時の避難施設として対応するなど、防災機能を備えた体育館とします。

(2) 導入機能の方向性

諸室等	意見等	整備の方向性
アリーナ	県大会、九州大会を開催できる規模としてほしい。 太陽光を遮るカーテンが必要。 天井・壁の色は白を避けてほしい。 硬すぎる床は避けてほしい。 照度や照明の検討が必要。 壊れにくい壁・建具必要。	・バスケットコート3面、バレーコート4面、バトミントンコート12面、卓球台30台以上、ハンドボール2面 ・62m×44m ・カーテンの設置または窓の配置検討 ・天井の色、濃色検討 ・床組みの上、仕上げ材を設置 ・必要照度の確保と位置検討 ・壁・建具の強度を考慮 ・バスケットコート1面を設置（アリーナ3面も含めて4コートで大会が出来る） ・2階固定席1,000席程度客席を設置
サブアリーナ	県、九州大会を開催できる規模としてほしい。	・客席形状を検討
観客席	観客席が必要。 大会時に選手30名×16チーム=480名、応援500名程度が座れる観客席が必要。 横長より、すり鉢状の客席の方が見やすい。	・ギャラリーにランニングコースを設置 ・トレーニングルームの設置 ・ステージは可動式
ランニングコース	ランニングコースがあるとよい。	・会議室の設置（80名程度） ・鏡を設置する（ダンス用） ・広く使いやすい器具庫を設置
トレーニングルーム	体力づくりの健康器具が必要。	・トイレ、シャワー室を設置
舞台	大会時ステージは可動式で良い。 イベント時発表できる舞台がほしい。	・空調設備を設置
会議室	研修などで会議室が必要。	・普通車500台程度・バス16台設置。不足する場合は公民館駐車場・高架下駐車場の利用を検討
器具庫	広い倉庫が必要。	・広場を設置（屋根付きを検討）
トイレ・シャワー	トイレ、シャワー室が必要。 トイレは多く、各場所にほしい。	・民間事業者のアイデアや市場性の有無を把握
空調設備	空調設備必要。 熱中症対策が必要。 空調があれば県大会が誘致できる。	・宿泊施設検討（用途上の規制を確認） ・バリアフリー、ユニバーサルデザインを考慮 ・災害における避難場所及び備蓄センターとしての役割を検討 ・災害時の排水およびマンホールトイレの検討 ・町の目玉ポイントの検討
駐車場	選手バス、大会関係者、応援用（県大会300台+バス16台以上必要）。 イベント（イベント来客500台必要、現在は学校グラウンド等からシャトルバスで対応）。	
屋外イベント広場	屋根付き・人工芝広場が欲しい（プロサッカー交流イベント、フットサル、ペタンク）。キッチンカー。	
カフェ・レストラン	地元の産業育成に寄与するようなチャレンジショップは面白い。 飲食施設があると整備後の維持管理も含め、集客が可能ではないか。	
宿泊施設	合宿が出来る施設があると良い。	
バリアフリー	全ての人が利用しやすい体育館が必要。	
防災	災害時の避難施設としての検討も必要。 災害の備蓄は現状足りていない。	
その他	ウルトラマンを観光の目玉にするのはどうか。観光協会の移行、案内所の統合。	

(仮称) 南風原町民体育館 基本情報パッケージ

(3) 施設構成イメージ (案)



5. 事業スケジュール



6. 関連・連携施設

(1) 黄金森公園陸上競技場

利用時間	9:00~22:00	定休日	年末年始
収容人数	5,300人		
施設内容	400m×8 レーン、全天候型、天然芝フィールド(7,140 m ² ・105m×68m)、投げ(砲丸・ハンマー・円盤・やり)、跳躍(幅跳び・三段跳び・棒高跳び)、3,000m障害用設備、雨天走路 50m×3 レーン		
付帯設備	駐車場/シャワールーム/更衣室/会議室/トレーニングルーム/AED/救護室/ナイター設備/Wi-Fi		
利用状況	【陸上競技場】R1:17,354人、R2:10,987人、R3:12,921人 【トレーニング室】R1:21,251人、R2:8,024人、R3:7,231人		



(2) 黄金森公園野球場

利用時間	9:00~22:00	定休日	年末年始
収容人数	200人		
施設内容	両翼 91.44m、中堅 101m、天然芝、ラバーフェンス		
付帯設備	駐車場/会議室/ナイター設備		
利用状況	【利用者】R1:5,688人、R2:4,817人、R3:3,054人 【試合数】R1:319試合、R2:218試合、R3:157試合		

